

海 蔵

-あくら-

四日市市立海蔵小学校
学校（校長室）だより
平成26年7月18日
第4号

着衣水泳訓練

7月8日（火）と9日（水）、2年生と4年生が着衣水泳訓練を行いました。この訓練は、子どもたちが水の事故に遭わないように気をつけることはもちろんですが、仮に万が一、水に転落することがあっても、何とか最悪の結果にならないよう必要なことを身につけるために行っています。ペットボトルやお菓子の袋、バケツやランドセルなど身近なものが浮いて結構役に立つこと、着ている服はそのままでもかなり浮くので意外と頼りになることなどを学びました。また、着衣で水に入ると、服などは思ったよりすごく重たく、とても泳げるものではないこと、海蔵川にあるブイはすごく役に立つことなども勉強しました。

楽しかったイベントに終わらず、しっかりと身につけて自分を守ってほしいと思いました。また、ほかの学年も、1年生を除いてすべて「やったことがある」学年ですので、学んだことをもう一度思い出して安全に過ごしてほしいものだと思います。



ふだんの服に、靴、靴下をはいて
水に入り、泳いでみる

ちょっとしたできごと

同じ日のことです。

行くところがあったので、ちょうど下校の様子を見ながら歩いていたら、100メートルほど向こうに大きな荷物を持って歩きにくそうにしている女の子がいました。荷物はどうも着衣水泳で使った水泳の用意のバックと、ぬれた服を入れた大きなビニールの袋のようです。特にビニールの袋は服が水を吸っているためかずいぶん重そうです。荷物からすると2年生でしょう。やがて追いついて「だいじょうぶ？」「持って行けるかなあ？」などと声をかけてみました。でもまあ何とかかなりそうだし、家はもうすぐのようなので「がんばって歩いて。」と声をかけました。その女の子よりはちょっと大きい学年の4、5人の子たちが、ちょうどそこまでいっしょに歩いてきていたので、「いっしょに行ってあげて。」と頼んで、その子たちとはちがう方へ曲がって歩き出しました。それでもちょっと心配で見ていると、ひとりの男の子がもうひとりの男の子に

「おい、その荷物持ってったたら？」

「おれ、水筒持っとるで……。まあええわ、持ったるわ。かしな。」

いっしょにいた女の子も「わたしもあとで持ったる。」

最初に言い始めた男の子も「おれもあとで持ったるでな。」

やがて姿が見えなくなり、声も聞こえなくなりましたが、子どもたちのやさしさを感じて、すごくいい気持ちになりました。

人がやさしくしているのを見ると、自分もやさしくしたくなるものですね。

1学期間、学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。保護者の方はもちろん、たくさんの地域の方に見守られて1学期の終業式を迎えることができました。重ねてお礼申し上げます。